

NIPPO
北信越支店長

ひだか しんご
日高 真吾氏

支店長



全職員の力を合わせて

2015年4月から3年間、首都圏が担当エリアの間、首都圏が担当エリアの間、第一支店長を務めた。支店長就任は2回目。「支店長のあるべき姿を3年間で勉強した。その経験を生かしたい」。多くのプレイヤーがひしめく首都圏は競争も激しいが仕

て成果を上げたい。そのためには皆が汗をかき合わねばならない。それができる職場の雰囲気づくりに全力を尽くしたい。当社は支店担当エリア4県(新潟、富山、石川、長野)をカバーする工事拠点と合材工場を持つ。組織力を結集してチャンスをもににする」

首都圏で技術者として働いていた時代に現上皇、上皇后両陛下がお住まいの邸宅の外構工事を担当。「両陛下が工事場所を通る際、私たちは身を隠さなければいけないが、気付いた両陛下が車窓越しに会釈してくれたことがあった。うれしさに身が引き締まった」。

趣味は登山、マラソン、ゴルフ。北信越エリアでは谷川岳、白馬岳、剣岳、立山などを踏破した経験を持つ。東京マラソンには2回出場した。ソフトバンクホークスの和田毅投手は高校(浜田高校)の後輩。(4月1日就任。横浜国立大学工学部土木工学科卒。島根県出身、58歳)



支店長席



グループ全体の力を結集

4月1日付で就任。北信越支店は初となるが、2015年から3年間にわたり関東第一支店長を務めたこともあり「その経験を生かしたい」と抱負を語る。

NIPPO執行役員
北信越支店長

日高 真吾氏

支店は新潟、富山、石川、長野の4県を管轄。管内では特に国土交通省やNEXCOなど公共発注案件での事業量の確保を見込んでおり、「品質の良い確かなものをつくり上げていく。無理をせず、少ないチャンスで最大限の成果を上げるため、みんなで汗をかいていきたい」と強調する。特にグループの工事会社や製販会社との連携を最重視し、「グループが一体となることで売り上げや利益、品質につながる。グループ全体の力を結集する」と話す。

働き方改革については、奇しくも新型コロナウイルス対策で導入が本格化したテレビ会議やテレワークなどの取り組みを加速させ、

移動時間の削減などにつなげたい考えだ。現場では全社的に取り組みを進めている直行直帰の推奨やパソコン利用時間の可視化などで効率化を図る。

就任に際して支店社員には『わたしたちは確かなものづくりを通して豊かな社会の実現に貢献します』という企業理念を改めて伝えた。「その目的のためにさまざまに戦略がある。それぞれの立場で考えてほしい」と呼びかける。

1985年3月横浜国立大学工学部土木工学科卒業、同年4月日本鋪道(現NIPPO)入社。関東第一支店長、建築事業副本部長兼海外事業副本部長などを歴任。趣味は登山やマラソン、ゴルフ。北陸では白馬岳、剣岳、立山などを踏破した。島根県出身。61年7月14日生まれ、58歳。